

DERWENT-ACC-NO: 1999-331640

DERWENT-WEEK: 199928

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fixing method of loop band for banner and flag onto pole
- has auxiliary grip ring with internal diameter equal to
width of loop band for fixing loop band firmly with
banner

PATENT-ASSIGNEE: NISHIMOTO H[NISHI]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0321928 (October 17, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 11119716 A	April 30, 1999	N/A	003	G09F 017/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 11119716A	N/A	1997JP-0321928	October 17, 1997

INT-CL (IPC): G09F017/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11119716A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Plastic loop band (2) has flat ends (1) where double sided adhesive tape is affixed for pasting banner or flag (4) to it. An auxiliary grip ring (3) with internal diameter equal to width of loop band ensures firm gripping of banner to loop band.

USE - Used for fixing loop bands for advertisement banners or flags onto pole.

ADVANTAGE - Grip ring ensures holding of banner or flag firmly to the loop band and prevents their detachment even during strong winds. DESCRIPTION OF

DRAWING(S) - The drawing shows mounting situation of grip ring onto loop band.
(1) Flat ends of loop band; (2) Loop band; (3) Grip ring; (4) Banner.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/5

TITLE-TERMS: FIX METHOD LOOP BAND BANNER FLAG POLE AUXILIARY GRIP RING
INTERNAL

DIAMETER EQUAL WIDTH LOOP BAND FIX LOOP BAND FIRM BANNER

DERWENT-CLASS: P85

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-249275

(11)特許出願公開番号

特開平11-119716

(43)公開日 平成11年(1999)4月30日

P

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全 3 頁)

(71)出願人 595002801

西本 久幸

福岡市西区小戸3丁目16番21号

(72)発明者 西本 久幸

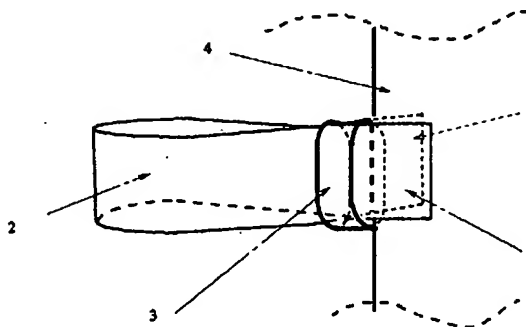
福岡市西区小戸3丁目16番21号

(54)【発明の名称】 のぼり、旗等のチチ及びチチ輪とその 固定方法

(57) 【要約】

【課題】 強風下ののぼり表示において、風力によるチチ輪の開きに伴うチチとのぼり生地との疲労、破損剥離を防止することに有る。

【解決手段】 チチ輪部に合成樹脂などのチューブ体を輪切りにしてえられる、その内径がチチ輪部の幅とほぼ等しいベルト体をして前述チチ輪部に被せるがごとく装着せしめる。



not
transp

【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂、布等よりなる、両端に扁平状のチチ1を有するチチ輪2において、この両端のチチ扁平部裏面に接着剤あるいは両面テープを装着して成る事を特徴としたのぼり、旗等のチチ及びチチ輪、あるいはチチ輪両端のチチ部を旗4等に縫いつけてなるチチ及びチチ輪等の、そのチチ輪の幅と同等の内径を有する補助ベルト3をチチ輪外周上に位置せしめる事を特徴とした、チチとのぼり、旗との接合を強固ならしめ、固定する方法。

【請求項2】 合成樹脂よりなるチューブ体5を所要の幅で裁断しベルト体6を得、かかるベルト体6をのぼり、旗4等のチチ輪外周部に被せてなることを特徴としたチチ及びチチ輪。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 宣伝広告等に用いられるのぼり、旗、紅白、垂れ幕等の本体をポール、竿に装着するチチ部及びそのチチ輪本体の固定に関する発明である。

【0002】

【従来の技術】 従来ののぼり、紅白、垂れ幕などのチチ輪は、一本の帯状の布を2ツ折りにして、その両端を相手方ののぼり、旗等の端に縫いつけチチ輪とし、この縫いつけ面以外のループ状の部分ポールに通して用いていた。

【0003】あるいは、特願平6-329751号にあるがごとく、チチ輪両端のチチ部裏面に接着テープを設け、旗等との接合を図った。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 この様な構造のチチ輪にあっては、のぼり、旗などを屋外の強風下に設置した場合、ポール外周状に位置したチチ輪が風に煽られて広がり、もってチチとのぼり、旗等との縫合部分、あるいは接着部分を剥離、破損するという欠点があった。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明にあっては、かかる問題を解決する為にチチ輪2本体と同等の幅を有する、合成樹脂等よりなるベルト体6を当該チチ輪2の外周面に装着せしめるのである。

【0006】また、合成樹脂よりなるチューブ体5を輪切りに裁断し、もって当該ベルト体6を得、チチ輪外周に装着するのである。

【0007】

【発明の実施の形態】 本発明を図面に基づいて説明する。図1にあっては、合成樹脂、布等よりなる、両端に扁平状のチチ1を有するチチ輪2において、この両端のチチ扁平部裏面に接着剤あるいは両面テープを装着して

成る事を特徴としたのぼり、旗等のチチ及びチチ輪、あるいはチチ輪両端のチチ部を旗等に縫いつけてなるチチ輪の外周上にそのチチ輪2の幅と同等の内径を有する補助ベルト3を装着して位置せしめるのである。

【0008】図2にあるがごとく、本補助ベルト3の内径はチチ輪の幅Dとほぼ同等のdとなしている。

【0009】また図4にあっては、合成樹脂よりなるチューブ体5を所要の幅で裁断し、ベルト体6を得、かかるベルト体6をのぼり、旗4等に取り付けたチチ輪外周部に被せて装着するのである。

【0010】当該ベルト体は、一本の帯ヒモ状の合成樹脂7を接合することにより構成することも可能である。

【0011】あるいは、布製の帯ひもを縫製してベルト体となすことも可能である。

【0012】必要においては、裏面に接着剤を有するテープをチチ輪外周、旗地寄りに装着してベルト体となすことも有用である。

【0013】

【発明の効果】 本発明はチチ輪の外周面に帯幅と同等の内径を有する補助ベルトを設けたので、強風による旗の激しい動きでチチ輪が開くのを阻止し、チチと旗等との剥離、破損を十分回避出来るのである。

【0014】チチ輪上への本補助ベルトの装着をチチ輪外周面に被せる構造としたので、使用中、特に強風下にあっては広がろうとするチチ輪に押されるごとく当該補助ベルトは旗とチチとの接合部位へ移動、押しつけられて寄りその効果を高めるのである。

【0015】合成樹脂等によるチューブ、筒体を所要幅に裁断し、もってベルト体となし、これをチチ輪上に被せるだけの簡易な作業であり、脆弱部分をあて布、増し縫いで補強する従来の手段に比して、コスト的にも、労力的にも有用である。

【0016】

【図面の簡単な説明】

図1は本発明の使用実施例を示す側面図である。図2は補助ベルト部のチチ輪との関係を示す斜面図である。図3は当該補助ベルトの装着状況を示す。図4は当該補助ベルトとして用いるベルト体の作り方を示す。図5は合成樹脂あるいは、布よりなる帯ヒモ体を接合して当該補助ベルトとなす方法を示す。

図中1は、チチ 8は、7の接合部
2は、チチ輪 9は、ポール
3は、補助ベルト dは、補助ベルトの内径
4は、旗 Dは、チチ輪の幅
5は、チューブ体
6は、ベルト体
7は、合成樹脂あるいは、布製の帯ヒモ体

